事例No.	2455
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	青河自治振興会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・移住定住 ・関係人口

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

「こころ　あたたまるふるさと　あおが」～持続的な住民主体のまちづくりへの挑戦～

出典

平成30年度優良事例表彰一覧

総務大臣賞

青河自治振興会（あおがじちしんこうかい）

『こころ　あたたまるふるさと　あおが』
～持続的な住民主体のまちづくりへの挑戦～



67人の地域住民出資により設立した「合同会社あおが」が運営する農家レストラン「こいこい屋」を中心とした新しいコミュニティビジネスの展開につながっている。

●●事例の概要●●



小学校田植え体験。現在も青河町の“地域遺伝子”が生き続け、地域を守り続けている。

青河地域では、戦後から青河公民館を中心に積極的な公民館活動や町おこしの取組が行われてきたが、平成16年に設立した「青河自治振興会」に公民館時代の組織を継承し、青河コミュニティセンターを活動拠点として活動を続けている。

具体的には、子どもは地域の宝との考えの下、「農」を中心とした田舎文化と都市の交流を目標に掲げ、青河自治振興会が中心となって、住民主体で地域の暮らしを守り、都市農村交流の推進に向けた活動を展開している。

また、「有限会社ブルーリバー」による定住促進対策事業や「合同会社あおが」による農家レストランの運営など、様々な地域運営の手法により地域活性化に取り組んでいる。

このように、住民が主体となって地域の暮らしを守り、また、交流活動を展開しており、地域愛が高いことは，青河地域の住民に安心感を抱かせ，生涯，この地に住み続けたいという思いにつながっている。

●●評価のポイント●●

青河地域は、旧三次市郊外の青河小学校区を単位とした混住化が進む農村地帯（人口438人、世帯数172世帯）であるが、世代を超えて自治の志を受け継ぎ地域づくりに取り組む。

まず、平成に入って改築された青河小学校の児童数が年々減少し、40人を下回った時点で、「地域で小学校を守ろう」と有志9人が資金を出し合い、平成14年に有限会社ブルーリバーを設立した。同社は、遊休地への定住住宅の建設や空き家をリフォームした住宅の賃貸業を通して、移住者を小学校の存続につなぐ。自己資金をもとに、家賃収入、太陽光発電の売電収入を得て展開する事業は、地域に馴染めるファミリー層を選び取れる強みを有し、新たに14家族64人を地域に迎えている。

その中で、新・三次市合併後の公民館再編の動きを受けて、平成16年、青河自治振興会が発足。7つの部会に加え、振興会直営で独自の暮らしサポート事業を立ち上げる。この事業では、各戸年4,500円の負担で様々なサポート（代行・輸送・知識情報・業者紹介など）を受けられ、買物や病院への移動手段にも活用されている。

さらに、平成18年には、青河地域の将来のあるべき姿と道筋を描いた、「青河町町づくりビジョン」（地域版総合計画）を住民手作りで策定した。「農を中心としたまちづくり」を掲げ、青河小学校の総合学習と連携した農業体験や行事、町民誰でも出荷できる朝市「よりんさい屋」の運営など、できることから取り組みが始まっている。

平成28年には、住民67名の出資により合同会社「あおが」が発足。週末にそばを中心とした農家レストランを開店し、どぶろくの製造やイベントなどにも活用できる新たな交流拠点が生まれている。

「青河に暮らす意味」を常に問い直し、「地域を自分たちで作り上げるしかない」という志のもとに「守り」から「攻め」の自治へ展開する青河の実践プロセスと着実な成果を高く評価したい。



サツマイモの収穫を通じての広島市内の園児と保護者との交流が15年間続き、今でも成長した子ども達との交流がある。



広島市内の「宇品公民館祭り」に合わせて，青河地域で収穫された米や野菜，加工した餅や漬物などを運び込み，対面販売している。



青河ホタル祭り。小学生の環境学習や環境保全・啓発活動の発表の場にもなっている。

DATE　広島県 三次市（みよしし）

団体名▶青河自治振興会
所在地▶〒728-0024　広島県三次市青河町582番地1
連絡先▶TEL：0824-67-3701　FAX：0824-67-3701
E-mail：aoga@m-city.jp
URL:http://blog.livedoor.jp/aogablog/

【交通のご案内】

自動車▶山陽自動車道　広島ＩＣから中国縦貫自動車道経由で大阪方面へ約１時間（三次ＩＣ下車）
中国横断自動車道尾道松江線　尾道北ＩＣより松江方面へ約50分（三次東ＩＣ下車）
国道54号　広島市より約１時間45分

鉄　道▶JR広島駅からJR三次駅まで約１時間50分（快速で約１時間15分）

飛行機▶羽田空港から広島空港まで約１時間30分広島空港から国道375号経由で約１時間30分



▶国勢調査人口（単位：人）

市町村名	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
三次市	42,163	37,877	61,635	59,314	56,605	53,615

▶人口増減率（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
三次市	27.2	41.6	-13.0	-9.6	-5.3

▶高齢者・若年者比率（H27年）（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
三次市	35.0	12.5